【県婦連歴代会長】



初代会長
万野　ハツエ
S23.1.23～S41.4.15



2代会長
井上　冨美子
S41.4.15～S54.6.7



3代会長
富野　和子
S54.6.7～S60.6.10



4代会長
田村　マチエ
S60.6.10～H1.6.1



5代会長
沖津　カヅコ
H1.6.1～H6.6.1



6代会長
上野　マサエ
H1.6.1～H13.6.1



7代会長
板東　美津子
H13.6.1～H17.10.27



7代会長代行/８代会長
横関　ヨシ子
H17.11.1～H18.6.1
H18.6.1～H23.6.1



9代会長
（一財）徳島県婦人団体連合会
初代会長　　藤田　育美
H23.6.1～H24.7.9
H24.7.9～現在

婦人会のあゆみ
～ 婦人会館とともに 歩んだ日々～

徳島県婦人会館建設当時



昭和 59 年 3 月 21 日に徳島県婦人会館を建設いたしました。

徳島県庁に隣接した立地環境は、行政と協働し地域にボランティアとして社会貢献する私たちの「活動のシンボル」であり、また、心のよりどころであった会館でした。婦人会館を建設するために、先輩方は地道な募金活動や資金調達にご尽力くださいました。約 30 年間、私たちの活動を支えてくれた「婦人会館」の思い出とあわせて、婦人会のあゆみを振り返ります。

昭和 23 年　徳島県婦人連絡会として設立



初代会長
万野　ハツエ
（昭和 23 年～昭和 41 年在任）

昭和 23 年から昭和 41 年まで 18 年間在任し、婦人の地位向上や地域の福祉など多岐にわたり尽力をされ、現在の県婦連の礎を築きました。

昭和 30 年　財団法人徳島県婦人団体連合会と改称する。

昭和 31 年～昭和 33 年　「キャラメル 1 人 1 個運動」を始める。

「キャラメル 1 人 1 個運動」とは



戦後焼野原となった徳島市内

当時、現在の婦人会館の場所に徳島県が所有していた自治会館がありました。戦時中に第日本婦人合同財団の解散に伴い、土地のみ贈与していただいていましたが、建物は別でした。

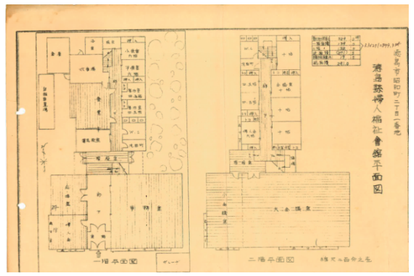
婦人会活動の拠点となる「会館」を作りたい！
その思いで先輩方が募金を集めるために行った活動が「キャラメル 1 人 1 個運動」です。

当時 20 円だったキャラメルに掛けて募金活動をされたそうです。2 年間の活動で約 250 万円が集まったそうです。

昭和 34 年　徳島県婦人福祉会館を開館する



念願の「徳島県婦人福祉会館」を開館しました。
建物の価格は約 800 万円でした。「キャラメル 1 人 1 個運動」での 250 万円以外に 8 万人の会員から 550 万円の拠出を要し、ようやく手にすることができた夢の会館でした。四国で一番初めに出来た婦人会館でした。

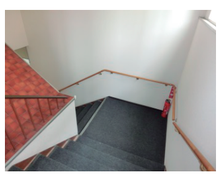
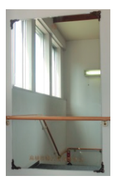
徳島県福祉会館　外観図 	学校のような佇まいの会館です。よく見ると左下に「徳島県福祉会館」と看板が出ています。
徳島県婦人福祉会館平面図 	大会場の他にも、結婚式場や電気室などユニークな部屋を備えた会館でした。 電気室では、当時普及し始めた、電気炊飯器や電気アイロンなど家電製品を使った講習が行われていました。
結婚式場 	会館事業として結婚式場の貸出をしていました。当時県婦連では「結婚式の簡素化」運動にも取り組んでおり、貸衣装や記念写真、司会まで婦人会が請け負い、低価格で挙式ができるよう活動をしておりました。 また、会館事業とは別に、婦人会はラジオ番組をもっており、ラジオで独身男女の情報を放送し、仲人をするという活動もしていました。 地元に密着した婦人会ならではのエピソードです。
大会議室 	大会議室では様々な行事が行われました。 様々な行事の記録写真をみると、多くの会員で溢れ返り活気に満ちた様子が伝わってきます。
紅露　み つ　先生   紅露先生の講演の様子	初代万野会長、二代目井上会長の時代に、相談役として徳島県婦人会の発展にご尽力いただいたのが、紅露みつ先生でした。 紅露先生は、県婦連の立ち上げから財団法人を取得すること、また婦人福祉会館の土地を無料で引き継ぐことや会館の購入にいたるまで、県婦連の活動基盤を盤石なものにする為、お力添えくださいました。今日の、県婦連健在の大恩人です。

昭和 34 年 7 月に「全国地域婦人団体連絡協議会」に加盟しました。	
昭和 39 年　婦人大学卒業写真 	東京オリンピックが開催された年です。 この写真は婦人大学の卒業式の記念写真です。婦人大学とは、現在のシルバー大学のように、地域福祉を推進するリーダー養成を目的として開講された大学です。
徳島県婦人福祉会館の取り壊し 	徳島県婦人福祉会館も老朽化が進み、昭和 58 年に解体されました。 大量のがれきが積まれています。
	更地になりました。この土地に現在の婦人会館が建てられることになりました。
昭和 59 年 3 月　婦人会館が建設されました。	
徳島新聞への記載 	昭和 53 年の総会で決議してから竣工まで 6 年あまりの長い時間と当時の会員 8 万人からの拠出金と募金を含む約 8 千万円の費用を掛け、昭和 59 年 3 月に婦人会館が落成しました。 左は、徳島新聞に掲載した落成の広告記事です。
徳島県婦人会館の竣工式の様子  	婦人会館の屋上での新築落成記念式典の様子です。左は 3 代目会長 富野 和子です。ご来賓の中には当時の県知事 三木 伸三様の姿があります。

餅投げの様子 	婦人会館の新築を祝して餅投げをした様子です。 今ではあまり見かけなくなった懐かしい光景ですね。
婦人会館大会議室 	大会議室では、総会をはじめ毎月の理事会、講演会、講習など様々な用途で使用されました。
婦人会館和室 	1階にある和室です。新築当時は来賓控室や着付け室また、応接室として使用していました。 最近では老朽化がすすみ、あまり利用されていませんでした。
「ちふれ化粧品」と婦人会について  	昭和43年「ちふれ化粧品」は全国地域婦人団体連絡協議会（全地婦連）と提携し発売、婦人会員への組織販売を開始しました。提携に当たり、両者で3つの方針「適正な価格」「安全性を重視した製品づくり」「成分・分量の公開」を定めました。「ちふれ」の名前は地域婦人団体連合会（ちいきふじんだんたいれんごうかい）の頭文字をとったものです。
ちふれ美容講習 	昭和62年に大会議室で行われた「ちふれ美容講習」の様子です。
戦争体験を語り継ぐ会 	県婦連は戦争を二度と繰り返してはならないとの思いで「戦争体験を語り継ぐ会」を毎年開催しています。 戦争を風化させたくない、その願いを込めて昭和61年に県婦連では「いのちありて」を発行しました。

日赤徳島県支部創立100周年記念大会 	昭和62年11月25日、日赤徳島県支部創立100周年記念赤十字大会が開催されました。 現在も県婦連会員は全員が赤十字奉仕団の一員です。炊き出し訓練や赤十字活動資金としての社費募金活動に積極的に取組を続けています。
 赤十字奉仕団活動のつづり	婦人会は赤十字奉仕団として長年活動を続けてまいりました。左の写真は昭和28年から昭和35年まで奉仕団としての活動報告を綴った冊子です。 昭和28年当時から募金活動や同年に起こった北九州での水害に対し救援物資及び義援金協力をしたという記録が残っています。
第48回東四国大会 	平成5年に開催された「第48回 東四国国体」の開会行事の様子です。婦人会は開会行事に参加し、踊りを披露しました。会場では花を植えたプランターを飾り、大会を盛り上げました。
元島民北方領土を語る会（婦人会館） 	平成8年、婦人会館において「元島民北方領土を語る会」を開催しました。 婦人会は歯舞昆布の販売や北方領土ビザなし訪問への参加、また訪問後に講演を行うなど、北方領土の返還運動にも積極的に取り組んでいます。
第47回全地婦連全国大会（徳島県大会） 	平成11年開催「第47回全地婦連全国大会」徳島県大会の様子です。参加者が2,000名（県外800名・県内1,200名）の盛大な会となりました。 記念講演の講師は徳島県出身の瀬戸内 寂聴様 当時の徳島県知事は圓藤 寿穂様でした。 （県婦連会長：6代目 上野 マサエ）
第52回結核予防全国大会（徳島県大会） 	平成13年開催「第52回結核予防全国大会」徳島県大会の様子です。総裁である秋篠宮紀子妃殿下をお招きしアスティとくしまで開催されました。 この大会では3月24日を「世界結核デー」と定めました。

ねんりんピック（徳島県大会） 	平成 15 年に開催「ねんりんピック」徳島県大会の様子です。婦人会はマスゲームに参加しました。
徳島県との意見交換会 	平成 24 年 11 月 8 日徳島県婦人会館において徳島県と県婦連での意見交換会が行われました。 徳島県からは佐野教育長様をはじめ、知事部局からは 16 名がご出席くださり、「婦人会と行政との連携」をテーマに意見交換を行いました。
徳島県議会議員の皆様と県婦連理事との意見交換会 	平成 25 年 2 月当時の県議会議長樫本様をはじめ、他 24 名の議員の皆様にご臨席いただき、県婦連との意見交換会を開催いたしました。ざっくばらんに様々な意見交換がなされ、議員の皆様にも県婦連の活動を知っていただく良い機会となりました。
平成 27 年 7 月 10 日　一般財団法人徳島県婦人団体連合会となる	
財団法人から一般財団法人へ移行手続きを完了  （一財）徳島県婦人団体連合会　定款	公益法人制度改革に伴い、平成 25 年度に財団法人から一般財団法人へ移行しました。 施行から 5 年以内に移行手続きをしないと認定申請・認可申請が不許可となり、認定も認可も受けなかった場合は、移行期間の終了日をもって自動的に団体が解散となるため、正副会長と事務局が一丸となり移行手続きを完了させました。 （初代会長　藤田　育美）
各種セミナーの開催  	これまで、婦人会館では様々なセミナーや講演会を開催してきました。 対象者も婦人会員だけではなく、婚活支援の一環として独身男女に向けての「カラーコーディネート」講座、また、全地婦連からの委託事業である「標準化セミナー」や「製品安全セミナー」など多岐に渡り開催をしてきました。

婚活パーティー 	毎年、婦人会館で独身男女に出逢いの場を提供するために、婚活パーティーを開催していました。婦人会館での婚活パーティーは、アットホームな雰囲気で参加者に大変好評でした。
平成 26 年度総会 	平成 26 年、婦人会館で開催された最後の総会です。参加人数は 160 名（ご来賓・108 単位地区会長 他） 徳島県知事 飯泉嘉門様の代理で副知事 熊谷 幸三様、徳島県議会議長 森田 正弘様、徳島県教育委員会教育長 佐野 義行様にご臨席いただきました。
婦人会館の現状について	
現在の徳島県婦人会館 	創立当時と変わらず、県婦連の活動拠点として長年使用した愛すべき会館。老朽化が進み維持することが難しくなり、全会員に意見を募り、閉館することが決まりました。
玄関の看板 	玄関脇にある、婦人会館の看板です。普段は気に掛けていませんでしたが、閉館を前に改めて見直すと感慨深いものがあります。
婦人会館　階段  	長い階段の昇降は大変でした。特に荷物を持っての移動には随分苦労しました。 踊り場には町村合併する前の麻植郡婦人団体連合会から寄贈された立派な鏡がありました。
紅露　みつ先生の書 	大会議室には、紅露みつ先生の墨痕鮮やかな書が掲げられていました。「和気致祥」（わけちしょう）とは「穏やかな気持ちが幸せをもたらす」つまり「心を一つにすれば幸せがくる」という意味が込められています。

ひびの入った柱 	婦人会館脇のゲートを支える柱には、大きなひびが入っています。
舞台の天井雨漏り 	大会議室にある舞台上の天井には大きな雨漏りがありました。屋上の防水の劣化が原因でした。 大きな台風の時には、雨漏りを受けるバケツが一晩で一杯になることもありました。
床の内装が剥げた床 	老朽化は床にも。 何度もテープで修理をした跡が残る床。めくれあがった床につまずき、ヒヤリとする事もよくありました。
老朽化した空調室外機と雨漏りの原因となった屋上の防水 	屋上にある空調室外機です。劣化がひどく、室外機と床の隙間には水がしみ込んでしまっています。重量があるため移動が難しく室外機自体の交換をするにしても多額の費用が掛かるそうです。 矢印が示す箇所は、屋上の防水が劣化し、防水シート内部に雨水が入り込み、膨らんでしまっています。 2階雨漏りの原因となっています。
引越しの荷物(一部) 	平成28年4月27日に引っ越しをしました。 長年の貴重な資料があり、大量に荷物が出ている様子です。 おわり

徳島県婦人会館略歴

年月日	項目	トピック
昭和23.1.23	県婦連設立	名称;徳島県婦人連絡会
発議昭和30.1.23	土地問題	大日本婦人合同財団から地目学校敷地として県婦連に贈与。登記面積279坪
敷地登記昭和30.9.6		
昭和30.2.28	財団法人設立	
昭和30.4.30	申請許可年月日	
昭和30.5.10	全登記完了	知事許可(原菊太郎氏)財団法人徳島県婦人団体連合会となる。
昭和31.1	(旧)会館購入の為の会員拠金	1人キャラメル1個運動(当時キャラメル1個20円)
昭和33.4.1	自治会館購入	購入金450万円
	引き渡し	全額会員の拠金による
昭和33.7.23	開館式	徳島県婦人福祉会館を開館。全地婦連に加盟する。
昭和53.6.1	改築案起こる	総会決議案。土地は県が入用なれば売る。不要な時は婦人会自身で建てましょう。
昭和59.3.21	徳島県婦人会館落成	総工費8,000万円。全額が会員の拠金による。
昭和59.5.28	登記完了	敷地面積の実測283坪
平成25.7.10	全登記完了	一般財団法人徳島県婦人団体連合会となる。
平成26.6.1	婦人会館の老朽化が問題となる	
平成27.6.1	婦人会館の今後の方針について	藤田会長より総会において、婦人会館の現状について説明。今後の運営と管理について、単位地域で意見を出すように提言する。
平成27.8～平成27.10	全会員に意見を募る	108単位地域の全会員に婦人会館の修繕か売却について意見を募る。全地域で売却に賛成との意見書が上がる。
平成27.11.24	臨時評議員会を開催	全員一致で婦人会館の土地と建物の売却が決議される。
平成28.4.11	穴吹興産株式会社と土地および建物の売却について契約	建物は傷みが激しいため、土地のみの売却で契約をする。
平成28.6.1	婦人会館「ありがとう」の会を開催	